



第二中だより

No. 577

開校 54周年

生徒数 448名

令和3年3月1日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>

「新たな旅立ちの日に」

校長 橋本 真

弥生3月、春の響きは心を弾ませてくれます。春は、たくましく生きていく事の意義を教え、人生に光りをもたらせる季節です。「活動の春」。学校は1年間の「まとめの月」であり、新たな進級と卒業・進学という旅立ちの舞台を整える時期でもあります。生徒は、心身ともに大きく成長した1年間でもあり、多くの課題も発見された1年間であったのではないかと思います。この1年を振り返り、成長を見つめ直してみてください。

桜咲く（サクラ サク）

桜の開花メカニズムは、前の年に花芽をつけて休眠に入る。→秋から冬にかけての低温にさらされることで休眠から目覚める。→気温の上昇とともに花芽が成長して開花するそうです。つまり、寒さと暖かさの両方がある、初めて春を知り、花を咲かせることができるようです。暖かいだけの温室育ちでは咲かない、なんだか人生の試練のようです。私立高校の推薦・一般入試が、1月下旬から2月中旬にありました。そして、2月に入ってしばらくすると各私立高校から校長あてに合格発表の封書が送付され、その日、3年の担任の先生に可否を告げました。私もこれまで幾度となく3年担任をしてきましたが、私立高校入試の可否を告げるときは、何ともいえない緊張がありました。県公立高等学校の学力検査が2月26日にありました。今日も面接・実技試験に奮闘している3年生もいます。中学校3年生での高校受験という大きな試練の時期に、皆さんは「サクラ サク」の言葉を信じて、じっと我慢して、少しずつ努力を積み重ねてきました。これからの長い人生でもいろいろな試練がやってくると思います。そんなとき、私は、「じっと我慢する力」が大切だとおもいます。発表は、

3月8日月曜日、皆さんの「サクラ サク」の言葉がたくさん飛び交うことを信じています。

新たな旅立ちの日に

今日は、3月1日。卒業式まであと2週間、そして、修了式は、26日に迫りました。3年生は、もうすぐこの慣れ親しんだ和光二中を巣立ち、新たな場所での生活が始まります。また、1年生と2年生は、それぞれ進級して新たなクラスとなるとともに新たな1年生を迎えます。さて、毎年のこととは言いながら、この時期には、「別れと出会い」があります。毎年繰り返すこの別れと新しい出会いの中で生まれる環境は、自分自身の毎日を色とりどり鮮やかなものにしてくれます。先日、私はこんな言葉を見つけました。「別れは過去の記憶を思い出に変える力があり、出会いは未来を変える力がある」尊敬すべき人との出会いは自分をより謙虚にし、守るべき出会いは自分をより勇敢にします。愛すべき人との出会いは自分をより優しくし、競い合える人との出会いは自分をより努力家になります。新型コロナウイルスの感染拡大防止により行動が制限され、中止となった学校総合体育大会・修学旅行、縮小開催となった三葉祭、体育祭、行動が制限された学校生活、残念な限りです。しかし、3年生の皆さんは、この困難に試され、一層たくましく、社会へ飛立っていきます。中学校に入学してからの勉強や部活動、学校行事等、多くのことにチャレンジし、常に輝く瞳がありました。制限された中で開催した体育祭、三葉祭、多くの感動を生み出しました。3年生は、友だちや先生や後輩との残り少ない和光二中での生活をかみしめながら、そして新たな場所での夢や希望、新たな出会いを考えながら毎日を過ごしてください。

